



Japanesiable Japanese Class

JLPT N1

Hari Setiawan & Yoko Kosasa

復習しよう

1. にかこつけて、学校を休んでゲームばかりしていた。

a. 宿題 b. 風邪 c. 試験

2. 出張にかこつけて、。

a. 毎晩観光していた b. 新商品の説明をした c. 会議に出席した

3. ちょっと転んで擦りむいただけだし、ほどのことではないよ。

a. 傷口を洗う b. 絆創膏を貼る c. 病院へ行く

4. 冗談なんだし、ほどのことではないと思うけど。

a. 怒る b. 笑う c. 聞き流す

NI 読解



ふ べんえき 第82回「不便益」

問題

- ① 本文では、技術の^{しん ぽ}進歩によって私たちの生活はどのようなになったと述べているか。
- ② 川上浩司教授が注目している「不便益」^{ふ べんえき}とは、どのような考え方か。
- ③ 旅行で「あえて遠回りをする」ことには、どのような利点があると述べられているか。
- ④ 本文における「不便益」の考え方として、最も適切なものを一つ選びなさい。
- A. 便利なサービスをできるだけ利用せず、昔の生活に戻るべきだ。
 - B. 不便なことには、便利さでは得られない価値が含まれる場合がある。
 - C. 旅行では効率を重視せず、できるだけ長い距離を歩くべきだ。
 - D. 技術の進歩によって得られた便利さは、生活に必要なではない。

読んでみよう!「不便益」



技術の進歩しんぽによって、私たちの生活は以前とは比べものにならないほど便利になった。ネットで注文すれば商品が届き、スマートフォンを使えば、必要な情報やサービスを簡単に手に入れられる。しかし、便利であることは、常に私たちに利益りえきをもたらすのだろうか。

京都先端科学大学の川上浩司教授かわかみひろし きょうじゆは、「不便益」という、不便だからこそ得られる「益えき」に注目して研究している。例えば、

自動化された機械まかに任せず、自分で手間てまをかけて作業することで、技術が身についたり、工夫くふうを発見したりすることがある。つまり、不便は単に取り除くべきものとは限らないのである。

また、旅行でも、運動をかねてあえて遠回りをするすることで、思いがけない発見や記憶きおくに残る体験が生まれることがある。便利さにかまけてその恩恵おんけいだけを受けていると、知らず知らずのうちに、自分で考えたり試ためしたりする機会まで失うおそれがある。

もちろん、便利なサービスりょうしゃを否定すべきではない。大切なのは、便利さを拒むことでも不便を求めることこばでもなく、両者から得られるものを見極め、自分にとって必要なものを選び取る姿勢しせいではないだろうか。

問題

① 本文では、技術の進歩によって私たちの生活はどのようなになったと述べているか。

② 川上浩司教授が注目している「不便益」とは、どのような考え方か。

③ 旅行で「あえて遠回りをする」ことには、どのような利点があると述べられているか。

④ 本文における「不便益」の考え方として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 便利なサービスをできるだけ利用せず、昔の生活に戻るべきだ。
- B. 不便なことには、便利さでは得られない価値が含まれる場合がある。
- C. 旅行では効率を重視せず、できるだけ長い距離を歩くべきだ。
- D. 技術の進歩によって得られた便利さは、生活に必要なではない。

解答

読んでみよう!「不便益」



技術の進歩しんぽによって、私たちの生活は以前とは比べものにならないほど便利になった。ネットで注文すれば商品が届き、スマートフォンを使えば、必要な情報やサービスを簡単に手に入れられる。しかし、便利であることは、常に私たちに利益りえきをもたらすのだろうか。

京都先端科学大学の川上浩司教授かわかみひろし きょうじゆは、「不便益」という、不便だからこそ得られる「益えき」に注目して研究している。例えば、

自動化された機械まかに任せず、自分で手間てまをかけて作業することで、技術が身についたり、工夫くふうを発見したりすることがある。つまり、不便は単に取り除くべきものとは限らないのである。

また、旅行でも、運動をかねてあえて遠回りをするすることで、思いがけない発見や記憶きおくに残る体験が生まれることがある。便利さにかまけてその恩恵おんけいだけを受けていると、知らず知らずのうちに、自分で考えたり試ためしたりする機会まで失うおそれがある。

もちろん、便利なサービスりょうしゃを否定すべきではない。大切なのは、便利さを拒むことでも不便を求めることこばでもなく、両者から得られるものを見極め、自分にとって必要なものを選び取る姿勢しせいではないだろうか。

～をかねて

N(名詞) + をかねて

意味 ～という別の目的も同時に持って何かをする。

- ★「メインの目的があって、もう1つ別の目的を持たせて～する」
という意味を表す。
- ★「～をかねて」の後ろに来る事柄がメインの目的である。

～にかまけて

N(名詞) + にかまけて

意味 ～に気をとられて、ほかのことをきちんとしない。

★否定的なことに使われる。

★後ろの文には、よくない結果や「～を^{おこた}怠っている」という状態が来ることが多い。

練習しよう



練習しよう「～をかねて」

1. 日本語の をかねて、日本のドラマやアニメを見ている。

a. 試験 b. 説明 c. 練習

2. 姉の結婚祝いをかねて、。

a. 家族で旅行に行った b. 一人で家に帰った c. 姉の結婚式に出席した

3. 本日は をかねて、新製品しんせいひんのご紹介まいに参りました。

a. 休憩きゅうけい b. ご挨拶あいさつ c. 昼食

4. 情報収集しゅうしゅうもかねて、InstagramやFacebookなどを 。

a. 使わないようにしている b. よく使っている c. 一切見ないことにしている

練習しよう 「～にかまけて」

1. 仕事の にかまけて、健康に気をつかってこなかった。

a. 忙しさ b. 楽しさ c. 難しさ

2. 息子はサッカーの練習にかまけて、。

a. 毎日勉強しています b. ちっとも勉強しません c. 勉強する時間を確保しています

3. 最近、僕の妻は にかまけて、家事を全然しない。

a. スマホの充電 b. スマホの修理 c. スマホのゲーム

4. 夏休みは暑さにかまけて、 家で過ごしてしまった。

a. きびきび b. だらだら c. てきぱき

どうでしたか？

質問やコメントなどありますか。





フリートーク
忙しさにかまけて、後回しにしていることはあ
りますか？

★ありがとう!★